

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境							0.32		-	2.8
1 音環境						3.2	0.15		-	3.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-		-	
1.3 吸音		岩綿吸音板・カーペットの採用				4.0	0.20		-	
2 温熱環境						1.9	0.35		-	1.9
2.1 室温制御						2.8	0.50		-	
1 室温						3.0	0.38		-	
2 外皮性能						1.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性		冷暖房の可能な空調システムとしている。				4.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20		-	
2.3 空調方式						1.0	0.30		-	
3 光・視環境						2.7	0.25		-	2.7
3.1 昼光利用						1.8	0.30		-	
1 昼光率						1.0	0.60		-	
2 方位別開口							-		-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30		-	
1 昼光制御						3.0	1.00		-	
3.3 照度		照度が500lx以上				4.0	0.15		-	
3.4 照明制御						3.0	0.25		-	
4 空気質環境						3.9	0.25		-	3.9
4.1 発生源対策						4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		建築基準法を満たし、JIS規格によるF☆☆☆☆をほぼ全面に使用				4.0	1.00		-	
4.2 換気						3.0	0.30		-	
1 換気量						3.0	0.33		-	
2 自然換気性能						3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33		-	
4.3 運用管理						5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						-	-		-	
2 喫煙の制御		喫煙室を設け分煙している				5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能						-	0.30		-	3.1
1 機能性						2.7	0.40		-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ						2.3	0.40		-	
1 広さ・収納性						1.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観						3.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		執務スペースの1%以上を確保し、自動販売機の設置をする				5.0	0.33		-	
3 内装計画						1.0	0.33		-	
1.3 維持管理						3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		水切りを適切に設けている。エントランスにスロープを設け段差に配慮。				4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30		-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種以上にBを使用。Eは不使用。				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						3.6	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		節水型機器の使用				4.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		通信手段の多様化を図っている				5.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			4.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	天井スペースの確保	4.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく修繕更新できる	5.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	主要設備の更新に対応したルートの確保	5.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備のためのスペースを確保	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.78	5.0	0.04	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]=0.78	3.2	0.60	-	-	3.2
4 効率的運用			3.5	0.24	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	消費特性の傾向把握・分析を行い妥当性が確認できる	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマに加え、省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害な化学物質を含まない材料の使用 接着剤:フェノライトを使用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		1.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO: 排出率による換算スコア3.4 ライフサイクルCO ₂ 排出率88%	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2.1 大気汚染防止		発生源におけるガス又は煤塵濃度が排出基準より大幅に抑えられている	4.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	排水基準を満たした上でそれ以上の特別な工夫を実施	4.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースの確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			4.0	0.40	-	-	
1	騒音	振動規制法に定める現行の規制基準より大幅に抑えられている	3.0	0.50	-	-	
2	振動		5.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	